

棚田を未来へ繋ぐ活動に参加しませんか？

～ しがのふるさと支え合いプロジェクト～

参加企業様
大募集！！



未来へつなぐ棚田のバトン

山の斜面や谷間などの傾斜地に階段状に作られた棚田。

それは私たちの食料生産の場だけでなく、様々な生きものを育む命の泉でもあります。

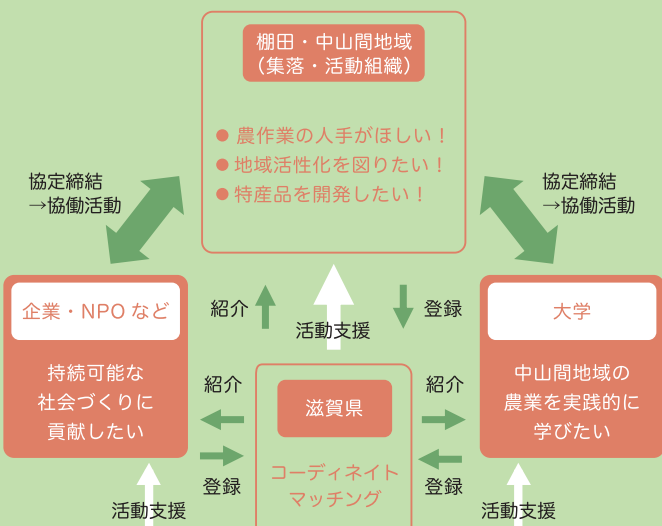
その美しい景観は、洪水などの災害から国土を守る機能を果たし、私たちの生活を支えています。

今、棚田がある中山間地域では人口減少や高齢化が進み、草刈りなどの維持管理が大変難しくなっています。

都市部に住む人々にも様々な『めぐみ』をもたらす棚田を、みんなで守っていきませんか？

都市と農村、世代を超えた人々との交流をしがのふるさと支え合いプロジェクトを通して広げ、この大切な場所を未来へつなぎましょう！

プロジェクトのイメージ



【しがのふるさと支え合いプロジェクト】事業紹介

高島鵜川は、平成 30 年に県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に登録し、地域活性化に向けた協定を締結して、農作業等の協働活動に協力してくれる企業等を募集しております。

「しがのふるさと支え合いプロジェクト」とは、中山間地域の活性化を目的に、地域の集落等と企業や大学、NPO 法人等の皆さんが協働し、農作業や棚田の保全活動、都市農村交流活動などを行っていただく取組です。

県では、協働活動のコーディネーターや、相手先とのマッチング、協定を締結し協働活動を行う団体への支援を行っています。

詳しくは
こちら





たかしまうかわ

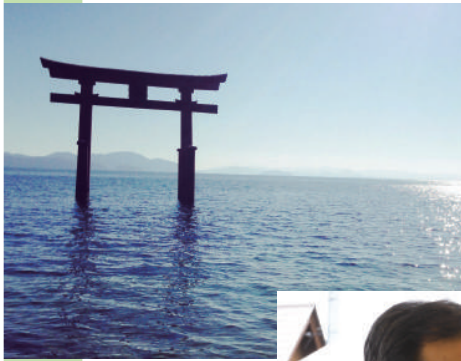
高島鵜川の紹介



びわ湖の西北部、高島市に位置する鵜川地区は、県指定の史跡である鵜川四十八体仏や湖に浮かぶ大鳥居がシンボルの白鬚神社を有する集落だ。

石積みの棚田が広がる背後には比良山系がすぐ迫っている。JR湖西線が棚田を横断しており、電車が横切るタイミングで思わずカメラを構えてしまう絶景スポットだらけの地区には、国道161号線沿いには農産物直売所「うかわファームマーケット」があり、地域の新鮮な野菜が毎朝並ぶ。

その一方で、鵜川地区は高齢化が進み、棚田を維持することが年々難しくなるといふ課題を抱えている。現在住んでいるのは46戸で住民は150名ほど。40ha（ヘクタール）の棚田があるが1/3が耕作放棄地となっている。



「鵜川棚田保存会」
会長 山田善嗣氏

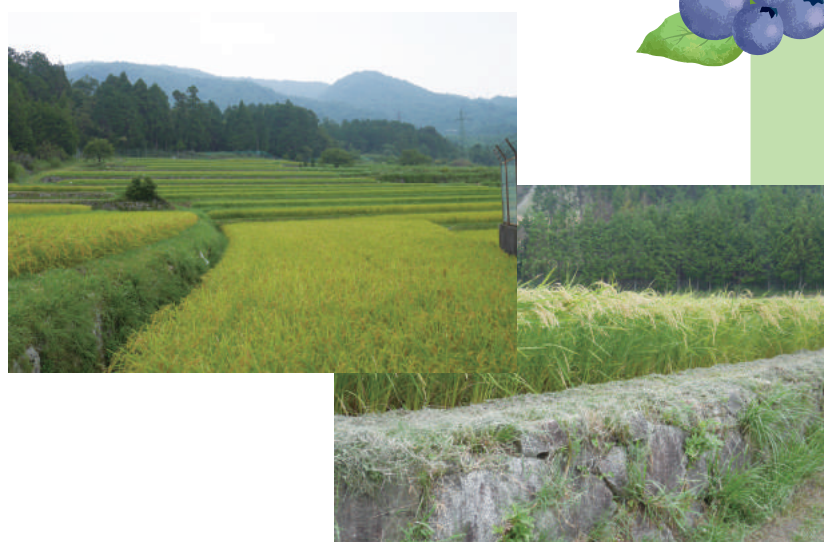
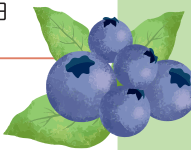
荒廃に歯止めをかけた秘策

鵜川地区には棚田を守るため、活動している「鵜川棚田保存会」という団体がある。平成28年より設立され、発起人である山田さんにお話を聞いた。

「高齢化により、棚田のほぼ半分が耕作放棄地になったため、荒廃に歯止めをかけようと保全を模索し、オーナー制度を取り入れることにしました。」

1区画で1組年間3万円支払うとオーナーになることができ、棚田保全に参加できる仕組みだ。田植えや稲刈りといった農作業から、収穫米40kg、うかわファームマーケットの商品券やドリンク券と特典が豊富。リピーターの方が多く、今年は25組が参加している。実際に鵜川の景色を見れば感じるのだが、オーナーはお米や商品券の特典よりも、石積みの棚田が広がるびわ湖までの景色と空気の美味しさに価値を感じているに違いない。

この取り組みを受けて地域住民にもいい変化が起きている。他の耕作放棄地も有効利用できないか模索し、平成30年より水はけも日当たりもよい地形を活かして果樹栽培に踏み切った。「鵜川果樹生産振興協議会」を立ち上げ、試験栽培を始めている。みかんやブルーベリーは観光農園として、梅と柚子は獣害対策として、現在60a（アール）の敷地に植えられている。実がなるのが楽しみだ。



足りない人出

耕作放棄地だった棚田を開墾し、取り組みを続けている現在、とても深刻な問題に直面している。

「棚田オーナー制度ももっと取り入れ、もっと耕作放棄地を減らしたいんですが、日々の管理は地域のみんなでやっているのです、今の面積で手いっぱいなんです。」棚田オーナーも、果樹栽培も都市農村交流として、体験しに来てもらうことが目的で考えた制度。日々の管理をしている棚田保存会のメンバーは地域住民なので、体験者が増えることに比例し、労働の負荷が掛かる。

復田して、一緒に草刈りなどの作業をしてくれる団体を探すため、『しがのふるさと支え合いプロジェクト』に参加した。

「耕作放棄地が増えて困っています。企業研修などを活用して、この美しい棚田を一緒に守ってくれる団体さんを探しています。」と呼びかけている。

お問い合わせ先

滋賀県農政水産部農村振興課 地域資源活用推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号
TEL: 077-528-3963

詳しくはこちら

